

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野譲次

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所内 電話(0586)24-1931 ☎491-8686

ロータリーに輝きを

URL:<http://www5.ocn.ne.jp/~rc138/>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

2014年8月7日 第3166回例会

会 長 磯部 茂 幹 事 則竹 伸也
会長エレクト 猪子 誠児 副 幹 事 桑原 英寿
副 会 長 加藤 恭平 広報会報委員長 小島 幹人

プログラム

青少年交換学生

岩田さくらさん帰国報告

国 歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
会員誕生日おめでとう

廣瀬雅美君(8月 1日) 藤原基弘君(8月 5日)
近藤俊彦君(8月 8日) 木村 実君(8月 9日)
宮田智司君(8月10日) 坂井田敏行君(8月18日)
鈴木洋志君(8月21日) 梯 國彦君(8月22日)
松原直次君(8月25日) 富田隆裕君(8月26日)
森 隆彦君(8月31日)

会員夫人誕生日おめでとう

中島幸介君夫人温 子 様(8月 3日)
市橋克宜君夫人弘 子 様(8月 6日)
佐分啓二君夫人万知子様(8月28日)
細野 登君夫人幸 枝 様(8月29日)

結婚記念日おめでとう

小出和志君(8月8日) 吉山佐人規君(8月9日)

8月度のプログラム

7 日 青少年交換学生 岩田さくらさん帰国報告
14 日 休会 お盆休み
21 日 インターアクトクラブ海外研修報告
28 日 第2回研修例会 卓話 井上 穂君

第3165回例会の記録

2014年7月31日(木)

会長挨拶

磯部 茂

本日はまずご報告から申し上げます。
青少年交換でフィンランドに1年間留学されていた岩田さくらさんが無事帰国され、昨日一宮市長に帰国報告しました。谷市長も大変喜ばれ1年間の留学でこんなにも成長されるのかと驚かれていました。次回の例会で皆様方に詳しく報告されますのでお楽しみにしてください。

次回の予定

8/14 休会 お盆休み
8/21 インターアクトクラブ海外研修報告

さて、本日は皆様例会場に入られて、いつもと違うテーブル配置に驚かれたと思います。懐かしい教室スタイルでロータリーの勉強をしていただきます。昨年私が会長エレクトの時、研修を受けましたリーダーの中で感銘を受けたお1人で、豊橋RCの村井總一郎さんに講師をお願いできました。不意に質問が飛んでくるかもしれませんが、ロータリアン同士のことですからお気軽に。

第1回目の研修例会ですが「自分とロータリーの接点」を見つけて頂ける機会になれば幸いです。

地区会員増強セミナー報告

村川文穂

7月25日(金)15時～17時名古屋国際センター別棟ホールで開催されました。当クラブからは磯部会長、会員増強豊島委員長、野杓ガバナー補佐、村川分区幹事が参加しました。セミナーは「外から見たロータリークラブ・こうしたら会員増強ができる」を演題で読売新聞、荒川盛也氏の講演の後、地区内8分区より事例発表「こうして会員増強は成功している」を拝聴しました。西尾張分区代表は一宮RCで会長から、当クラブの歴史と現在の取り組み及び本年度の抱負が語られました。又、野杓ガバナー補佐の挨拶の中で、現在一宮七夕まつりが開催中でありロータリアンの皆様に友人知人を誘っていただき、会員増強の一助として頂ければ幸いです旨もあり、充実したセミナーであったことをご報告いたします。

委員会報告

出席報告

委員長

瀬古篤司

現在の会員数	90名
本日のビジター	3名
本日の出席数	61名
他クラブ出席数	9名
本日の出席率	77. 77%
前々回の出席率	98. 68%

ニコボックス

☆ 村井總一郎君(豊橋RC)

本日、敬愛する磯部会長の例会のお手伝いをさせて頂きます。よろしくお願いします。

☆ 青山佳裕君

去る、24日25日亡父の通夜葬儀にはお忙しい中、御会葬ありがとうございました。

☆ 磯部 茂君 則竹伸也君

本日、講師に豊橋ロータリークラブ村井總一郎さんをお迎えした喜びで。

***** プログラム *****

第1回研修例会

卓話

村井 總一郎君

(豊橋RC 地区職業奉仕委員会委員)

テーマ「ロータリーと職業奉仕」



本日は磯部会長の『ロータリーを知ろう』の第1回を担当させていただきます。出来れば入会3年未満の新会員を対象にと言うことで、一緒にロータリーを考えていければと思っています。

皆さんがロータリーに入られて、入前のイメージ、説明とどう違ったでしょうか、色んな感想があると思います。そこでロータリーは何をやるのでしょうか？この問いにロータリーは奉仕をするところ、異業種の方と交流し知り合いを広めること、という答えが返ってきます。

ではロータリーの目的は何でしょう？ロータリーの目的は以前には綱領と呼ばれていて『意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを推奨することにある・・・』となっています。この文中でポイントが二つあります。1つ目は意義ある事業の基礎としての“の”です。“を”と書いてないのは、意義ある事業をするための、事業に発展させるための、と言うことで、意義ある事業として完成されたものを基礎とするではないのです。ひと儲けして立派になった金持ちの集まりでなく、ロータリアンとして資質の向上を目指す人の集まりと言う解釈が出来ます。もう1つは奉仕の理念です、これは以前には奉仕の理想と表現されていました。一言で言うと“愛”です。つまりあなたの幸せ私の幸せ、あなたの喜びわたしの喜びとするということです。詳しくは私の書いた「職業奉仕の入口」と言う冊子をお読みください。

このロータリーはポールハリスという人が始めました。1900年ごろの商道徳もなく荒廃したシカゴの街で、ポールは本当に信じられる友を必要とし仕事がしたいと思っていました。彼は寂しかったから、と述懐しています。ポールと同じ志の人が最初は4人、そして9人と増え、会としての2つのルールを作りました。一業一会員と例会出席強制です。同業者がいては腹を割って話し出来ない、欠席ばかりだと気心わからない、と言うことの様です。そして会員同士の互惠取引を推奨していました。会も増員されていった時、ポールはカーターと言う男に入会を勧誘しました。ところがカーターに、君たちはそれで良いが会に入れない人はどうなるのだ、ただのエゴイズムじゃないか、と言われたのです。そこでポールは地域に還元するような奉仕をしなくてはと思ったのです。その

時に知り合ったのが、アーサー・フレデリック・シェルドンでした。彼は【最も多く奉仕するもの最も多く報われる】という言葉で、職業をしながら奉仕することを提言しました。職業奉仕の基礎がここにできたのです。最も良いサービスをすることが、多くのリピーターを獲得すると読み変えられると思います。

職業奉仕は奉仕の受け手が自分自身で自分に返ってきます、それに対して社会奉仕は受け手が相手で見返りを求めません。しかし、職業奉仕をシッカリしていないと社会奉仕も出来ないのです、職業奉仕が重要と言われているのです。そしてただ儲ければ良いと言うだけではありません、ここに倫理と言うものが必要となってきます。ロータリアンの商売には裏切りや偽りはないと言うことです。これを端的に表す言葉が、4つのテストです。ロータリーのバッジはステータスでなく、高潔な人の証なのです。ロータリーの中核には倫理運動があります。



この倫理観を養うのが例会場なのです。ですから例会に出席し会員同士が知り合い、親しくなって発想の転換をし、倫理観を養っていくのです。職業奉仕の第一歩は例会出席なのです。『入って学び、出でて奉仕せよ』です。これからもロータリアンとして例会出席され、正しい倫理観を持ち、高潔な企業の運営をされますことをお願いします。ご清聴有難うございました。

** 岩田くらさん一宮市長表敬訪問 **



例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
尾張中央	8月20日(水)	名鉄グランドホテル	有
尾西	8月18日(月)	尾西信用金庫本店	有
犬山	9月2日(火)	名鉄犬山ホテル	有
江南	9月11日(木)	江南商工会館	有

※ 時間に指定のないクラブの受付は12:00～12:30です。